

令和7年度		指導計画・評価規準		3学年		教科名【技術・家庭科 技術分野】		使用教科書【東京書籍】		指導者【岡部 堅】	
学期	学習指導要領と単元名	学習内容	配当 時数	観点別評価規準			主な評価方法				
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1	4編1章 生活や社会を支える情報の技術 ④情報通信ネットワークの仕組み ⑤情報セキュリティの仕組み ⑥情報モラル ⑦情報の技術の問題解決の工夫 2編1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み ①生物育成の技術とは何だろう ②作物の育成環境を調節する技術 ③作物の成長を管理する技術 ④動物を育てる技術 ⑤水産生物を育てる技術 ⑥生物育成の技術の工夫を読み取ろう 2編2章 生物育成の技術による問題解決 ①問題を発見し、課題を設定しよう ②生物の育成計画を立てよう ③成長の段階に合わせて適切に育成しよう (ダイコン) ④問題解決の評価、改善・修正 2編3章 社会の発展と生物育成の技術 ①生物育成の技術の最適化 ②これからの生物育成の技術 4編2章 双方向のコンテンツのプログラミングによる問題解決 ①双方向のあるコンテンツのプログラミングとは何だ ろう ②問題を発見し、問題を設定しよう ③コンテンツを構想しよう ④コンテンツのプログラム製作をしよう ⑤問題解決の評価、改善・修正 4編3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 ①計測・制御システムとは何だろう ②問題を発見し、課題を設定しよう ③計測・制御システムを構想しよう ④計測・制御システムのプログラムを作成しよう ⑤問題解決の評価、改善・修正	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの仕組み ・情報セキュリティ ・情報の社会に与える影響や問題解決の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・育成環境を調整する技術 ・生物の成長を管理する技術 ・生物の特徴を改良する技術 ・光の調整、温度の管理、水分の管理、土の管理 ・家畜の利用方法 ・水産生物、養殖技術 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校、地域、社会における問題解決の課題の設定 ・育成計画 ・定植、支柱立て・誘引、かん水 ・摘芽、摘芯、受粉 ・健康管理、病虫害駆除 ・収穫 ・栽培記録 <ul style="list-style-type: none"> ・双方向のコンテンツの仕組み ・問題の検討、解決策の課題設定 ・構想の具体化 ・情報処理の手順の整理 ・プログラムの製作と動作の確認 ・見やすさ、操作のしやすさ、製作工程が適切か、誤りが少ないか、著作権への配慮など評価 <ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御システムの役割 ・計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れ ・計測・制御システムのプログラミング ・センサーと仕事を行う部分の選択 ・計測、制御システムの構成の整理 ・自動化、システム化が実現するプログラム製作 ・安全性、環境への配慮、正確性、使いやすさ、製作工程が適切か、誤りが少ないか、著作権の配慮などの評価 	3	情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムを制作、動作の確認及びデバック等ができる技能が身に付いている。	情報の技術の問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方について気づくことができる。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。	知識・技能 ・ペーパーテスト ・作業プリント ・ワークノート ・実技テスト ・作業の取り組み ・レポート ・小テスト 思考・判断・表現 ・発言 ・ワークノート ・作業の取り組み ・レポート 主体的に学習に取り組む態度 ・発言 ・ワークノート ・作業プリント ・作業の取り組み ・レポート				
				2	育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基本的な技術の仕組みについて理解している。 安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を身に付けている。	生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。		主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。			
3			4.5	生活や社会、環境との関わりを踏まえて、生物育成の技術の概念を理解している。 双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。	双方向性のあるコンテンツの利用方法について考えている。 問題を見いだして課題を設定し入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。					